

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

NPO法人JAE

【サービス名称】

探究学習支援サービス

【サービスの支援項目】

カテゴリーⅠ 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月

地域・外部との連携を促進する

探究学習 支援サービス

外部との協力体制を築き
子どもたちの学びを深める支援



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

探究学習を推進していきたい学校で、ニーズに合わせた授業設計や外部連携先の開拓や調整、教材制作など一連の工程をサポートする

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

探究学習のプログラム設計や外部との調整を当団体が担うことで、教員負担を軽減した上で、深い学びを実現。また、学校・教員に寄り添いながらプログラムの共同開発を行うことで、教員自身のスキルアップにも効果がある。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

対象児童・生徒のレベルにあわせた教材開発、探究を深めるための教材として精度が上がる／授業実践にサポートとして入ることで、教員がより多くの子どもたちに学びの伴走ができる(個別最適な学び)

(3) サービスの活用場面

- ・探究学習に取り組みたいがノウハウがないという先生が、どのような授業をすれば良いか検討する段階で活用できる
- ・授業に協力する外部連携先を探したいという先生が、その発掘や調整を進める余裕がないという場面で活用できる

(4) 1サービスあたりの標準販売価格 1,188,000円(税込)／年(1学年) ※サービス提供時の追加費用負担はなし

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

各校に担当者を配置し、教員に寄り添いながらサービスを提供する。

外部と連携をしながら取り組みたい授業内容やねらいを実現するために、授業内容の設計、協力する外部協力者の発掘・調整、授業実施時の準備や運営サポートを提供した。

児童生徒・教職員が抱える課題

① 学びの環境

- ・防災教育を中心の取組みとして進めてきたが、以前の担当教員が異動となり、内容の見つめ直しが必要となった。
- ・企業連携を実施したいが進め方のノウハウや人間的な余裕がない。
- ・地域や外部との出会いは連動されておらず、単発の出会いになっている。
- ・地域のおとなや企業との出会いが限られている。
- ・探究学習と連動させた自己理解の機会やふりかえりをしっかり設けられていない
- ・キャリア教育という認識が職業観によりがちで、「生き方」との出会いが少なかった。
- ・学校として探究学習に力を入れているが、企業連携や地域のおとなとの出会いを活用出来ていない。

② 児童生徒の姿

- ・ゴールに行くまでのプロセスが描ききれない、物事の背景を想像できない。
- ・小規模校であるため、児童生徒間の人間関係が固定化している。
- ・自己理解、自己肯定感が低い。
- ・殻を破るような主体性が低い。指示待ちになる。
- ・相手の立場に立った発言や配慮が出来ない。
- ・新しい人と人間関係構築する機会が少なく、人間関係形成力が低い。

サービスが果たす役割

① 学びの環境

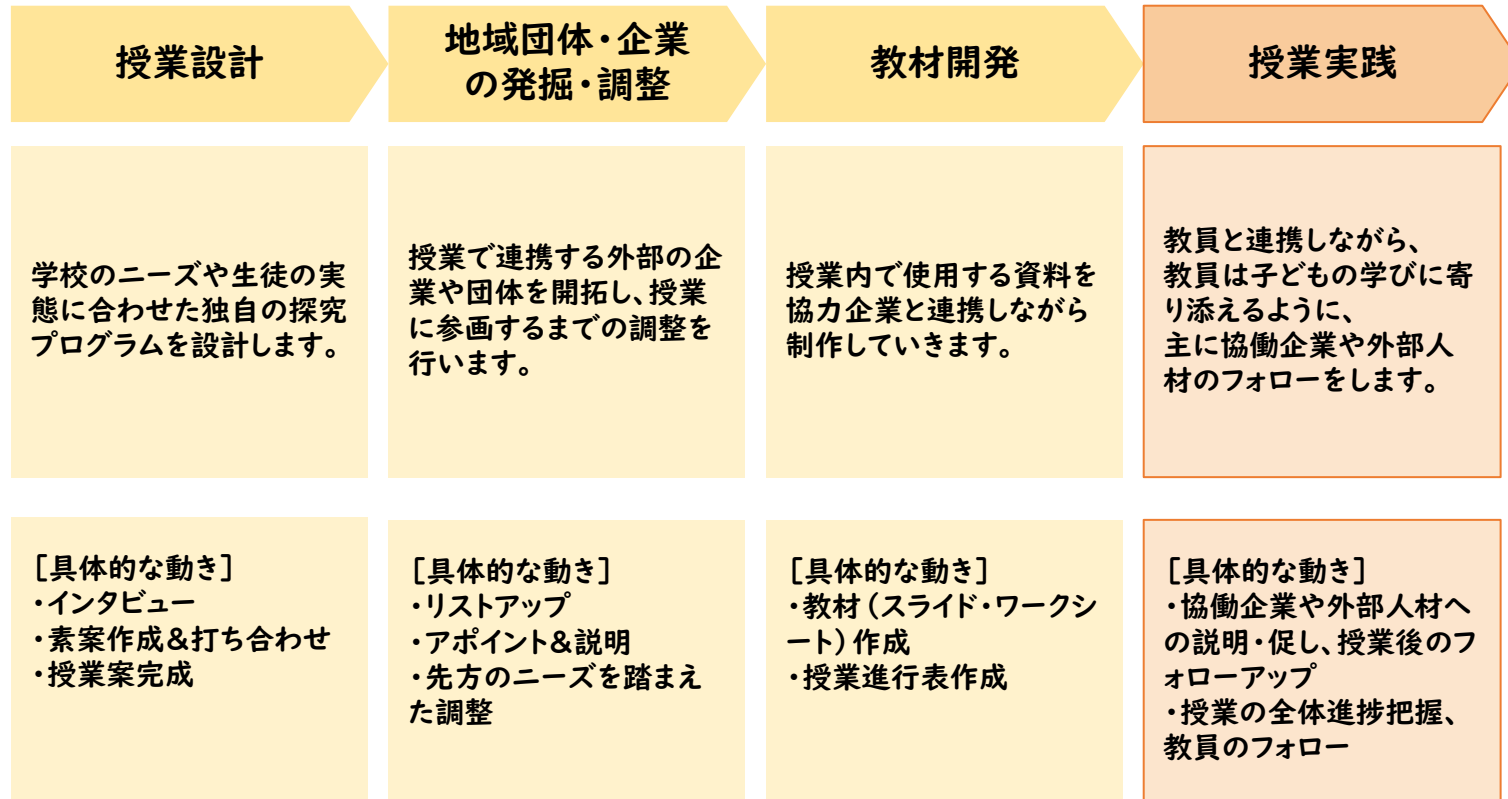
- ・ニーズに合わせた授業全体の設計や整理のサポート: 学年計画を拝見した上で、取組み内容の検討、開発サポート
- ・企業連携型授業の開発、実施: 連携先の発掘、連携への調整
- ・授業内容の提案、調整、実施へのサポート
- ・生徒の事前事後学習の開発、実施
- ・教材の準備サポート
- ・協働企業との調整、フォローアップ

② 児童生徒への直接的な関わり

- 基本的にはコーディネーターは教職員との開発準備が主な関わりだが、状況に合わせて関わっている
- ・事前学習、事後学習の司会進行
 - ・生徒たちの提案に対するフィードバック
 - ・生徒たちの成果物に対する講評
 - ・児童生徒の伴走

サービスの活用風景・授業の流れ

以下の流れで課題解決に取り組む



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	1	学校等教育機関数	3校
--------	---	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	泉南市教育委員会	泉南市立西信達中学校	大阪府	中学校	1年	総合的な学習
2	泉南市教育委員会	泉南市立泉南中学校	大阪府	中学校	1年	総合的な学習
3	泉南市教育委員会	泉南市立西信達小学校	大阪府	小学校	5年 6年	総合的な学習

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

サービス導入校では、探究学習を通して、地域社会に貢献していこうという姿勢を高めたいと考えていた。そのために、地域の企業がどんなことをしているかを知ることで、自身と地域社会との関わりを考えるようになること、また、その課題解決型の授業に取り組むことで、地域社会に関心を持ち、自身も取り組んでいこうと考えるようになること、を実現したいと考えていた。今回のサービス導入を通して授業設計と連携企業の開拓・調整を行なった。

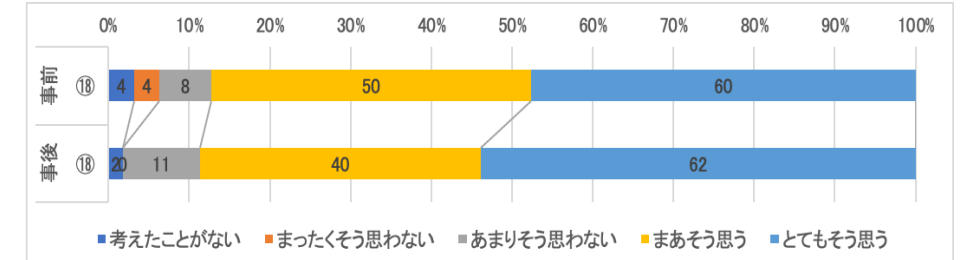
サービス導入の結果、希望する授業にマッチした企業の発掘、調整、課題解決型の授業設計と準備をサポートして実施することで、

- ・地域社会と自身との関わり「地球温暖化やごみ問題などの環境問題は、自分たちの生活に関係があると思う」で「とてもそう思う」という回答が60名→62名に増加
- ・地域社会に貢献する意識「自分が行動することで、まちや社会をより良くすることができると思う」で「とてもそう思う」という回答が18名→36名に増加
- ・諦めずに学びながら取り組む姿勢「失敗しても、次はどうすればいいかを考えることができる」で「とてもそう思う」という回答が33名→43名に増加

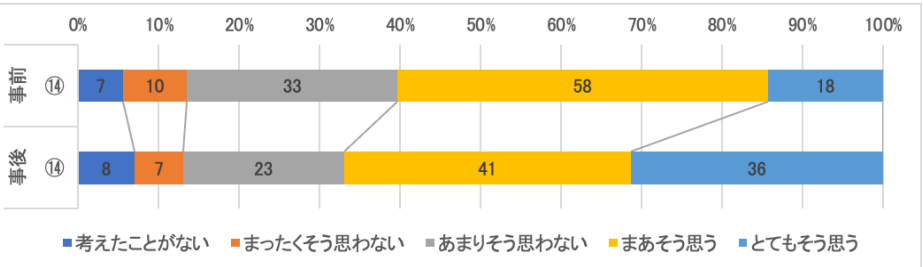
という結果が得られたことから、当初のねらいに効果のあるサポートができたと言える。

アンケート結果(抜粋)
 ・授業対象：中学1年生127名
 ・回答者：事前126名 事後115名

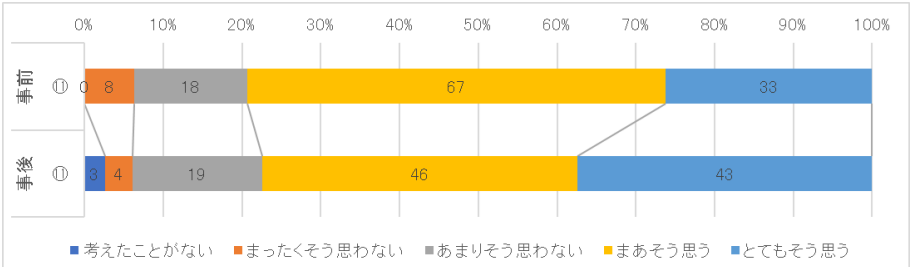
地球温暖化やごみ問題などの環境問題は、自分たちの生活に関係があると思う。



自分が行動することで、まちや社会をより良くすることができると思う。



失敗しても、次はどうすればいいかを考えることができる



定性的効果検証

教職員の手応えや学び

サービスを導入することで、学校に適した外部（企業）との連携ができ、外部の視点が入ることで、探究学習の学びの質が深めることにつながっている。また、授業を準備する一連の作業（連携先開拓・教材制作等）負担軽減をすることで、教員にしかできない業務に集中する環境を提供できた。

①外部（企業）との連携に関して

- ・総合的に見て、学校だけではできないことを実施することができた。
- ・そもそも企業と連携をしたいと思っていたが、候補を見つけることが難しい状況だったので、サポートによって適切な企業との連携が生まれて良かった。
- ・企業が学校現場に参加してもらったことで、離れた立場の人から子どもたちを肯定的に見ることになり、有用感が高まった。生徒に対して褒めてもらえたことがとても良かったし、逆に、取り組んでいる内容への指摘をもらうことも学習内容の深まりにつながっている。

②授業準備に関して

- ・授業内容に関するアイデア、ワークシートも考えてもらったことがとても助かった。
- ・いろいろとアイデアはもらうことができたし、少しハードルはあるが、やりがいを感じられる機会になった。

③探究学習に関して

- ・全体的には、子どもたちにとっても、学校にとっても助かったことはばかりで、やってよかった。
- ・探究学習は、方法や取り組み方などの選択の幅が広いし、どこまでも深く取り組むことができるので難しい部分はある。一定の負担をどうするか、という課題はあるが、学びを深める機会になっている。

授業に参加した児童・生徒の声

- ・発表をした事で災害に対して、どんな対処を取ればいいのかを伝えられた
- ・災害が起きた時に困ることを考えてそれをどう活かすか考えられた
- ・勉強して自分のこと以外にも周りの人のことも考えて行動するとか分かった
- ・災害が起こったときどんなことに困って、どのように解決できるのかを知った
- ・自分を守るだけではなくまわりの人も助けると学んだ
- ・地域の人に災害のことを知ってほしい
- ・今回の授業で、企業も防災にどう関わっているのかがわかった。
- ・この泉南市を守っていきたい
- ・根拠付けは大切だとわかった
- ・自分も引っ越してきた人だからあまりこの町を知らなかったけど、知ることができた
- ・相手の心に響くプレゼンを考えることができた
- ・欠点があり良いところもあるからどちらも探してバランスよく紹介する、発表する
- ・いろいろな人に助けってもらってる事がわかった
- ・みんなで協力すれば解決できるんだと思った
- ・発表する度胸がついた
- ・社会の色々な問題が分かった
- ・色々な考えがある中その為に動く泉南市がすごいと思った
- ・難しいことでも、友達と考える習慣がついた
- ・自分たちから考えて行動することで自分たちの住んでいる町が変わるかもしれないということがわかった



■ 探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

- ・学校で探究学習を進めるための体制やカリキュラムはまだ整っていない学校が多い。本サービスを活用する中で整備を進める面もあるが、どのような体制であろうとも直近のニーズ（授業設計や外部連携等）に速やかに応えられる準備を進めておくことが必要。
- ・また、より教員の負担は減らしつつ授業実施や教員自身の学びが得られるように、ポイントを整理し伝えられるようにしておく。

直面した課題

① サービス期間中の方針変更

・サービス導入後に、学校側の事情もあり、ヒアリングを経て当初想定していた授業内容から変更が必要になり、打ち合わせの量が増えた。

② 教員の負担と学びのバランス

・本来はすべてをこちらで実施するのではなく、教員に担ってもらったり、共同開発をする前提ではあるが、教員がとて多忙な状況で、時間確保をしたり、分担内容や関わり方を迷うことがあった。

③ 校内での理解や関係性構築

・学校全体で課題感を共有し切れていない場合に、取り組みを検討や実行していく際に、管理職や他教員の協力が得づらい状況が発生することがあった。

解決するための改善策

① サービス期間中の方針変更

・予期しない変更は起こりうるものとして想定しておきつつ、変更の必要性が出た際には、代替案をすぐに提示できるように他の学校での事例や授業案を提示し、意思決定を速くできるように対応する。

② 教員の負担と学びのバランス

・教員が十分な時間を確保できない状況を考慮して、学びにつながるポイントは何なのかを整理し、このポイントには関わってもらう、ここはこちらで担う、という線引きを明確に伝えられるように準備しておく。

③ 校内での理解や関係性構築

・今回導入した「探究学習支援サービス」のみではなく、全体のカリキュラム設計や、校内の理解を促進するための研修を合わせて提案するようにする。

■会社概要

社名	NPO法人JAE
代表	共同代表 坂野充・塩見優子
設立年月	2001年3月
本社	大阪市北区万歳町4-12 浪速ビル西館401A
資本金等	—
売上高等	2400万円(2024年度決算)
従業員数	5名
事業内容	希望と誇りを持てる社会を実現するため、未来を創造する若者の輩出を目的に子どもや若者と大人が共にチャレンジする機会を、実践型インターンシップや課題解決型学習プログラムを通して提供しています。関わる主体すべてに価値を生み出す「コーディネーター」として、企業や地域の課題解決につながる学習プログラムのコーディネート、教育機関のカリキュラム開発・運営体制構築支援、コーディネート人材育成の事業を行っています。

■お問い合わせ窓口

担当:塩見優子

電話:06-6131-3573

Mail:info@jae.or.jp